



2017年1月26日

アウディ ジャパン株式会社
プレス問い合わせ 03-5475-6309
<https://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120-598106
アウディ コミュニケーションセンター

プレミアムコンパクトカーのトップランナー Audi A3/S3 を商品改良

- ・自動ブレーキシステムの「アウディプレセンス フロント」を含めアダプティブクルーズコントロール(ACC)を全車標準化
- ・ quattro モデルに新開発の「ライトサイジングエンジン」を搭載
- ・スポーティでスタイリッシュな “sport” モデルを新たに設定
- ・300万円を切る魅力的なエントリー価格

アウディ ジャパン株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：斎藤 徹）は、プレミアムコンパクトカーの Audi A3（Sedan および Sportback）及びそのスポーツバージョンである Audi S3（Sedan および Sportback）に商品改良を施し、1月26日より全国の正規ディーラー（124店舗、現時点）を通じて販売いたします。

手頃なサイズのボディの中にアウディならではのスポーティ&エレガンス、高品質、卓越した走行性能などを凝縮した Audi A3 は、ヨーロッパではプレミアムコンパクトクラスの不動のベストセラーであり、日本でも重要な販売の柱のひとつになっています。Audi A3/S3 Sportback は、2013年9月以来3年4か月ぶりの、また Audi A3/S3 Sedan は2014年1月の初導入以来の改良となります。新型モデルは、Audi A4 シリーズなどから最新テクノロジーを移植することで、安全に関わるアシスタンスシステムや操作性、コネクティビティなどを充実させており、さらに新しいエンジンやトランスミッションも導入し、走行性能や燃費効率の面でも「プレミアムコンパクトカーのトップランナー」に相応しいクルマに仕上げられています。

その中でも、安全のためのアシスタンスシステムについては、ブレーキやアクセルをシステムが自動制御して車間距離と速度を一定に保つ「アダプティブクルーズコントロール」をはじめ、追突防止/歩行者保護のための自動ブレーキ機能を含めた「アウディプレセンス フロント」を全モデルに標準装備しています。さらに車線維持操作を助ける「アウディアクティブレーンアシスト」*、車線変更時の危険を減らす「アウディサイドアシスト」*、渋滞時のドライバーの負担を軽減する「トラフィックジャムアシスト」*といった先進システムも選択できるようにしました。*2017年夏以降の販売車両より「セーフティパッケージ」としてオプション設定。

走行性能の面では、前輪駆動モデルは従来の1.4 TFSI エンジン（90kW/122ps）と7速S トロニックのパワートレインを踏襲しつつ、 quattro モデルには、従来の1.8 TFSI に代え、アウディ独自の新しい燃焼方式「B サイクル」を採用した新エンジン（140kW(190PS)を発揮する2.0 TFSI）を搭載。また、Audi S3 用の高性能版2.0 TFSI のパワーを従来の210kW（285PS）から213kW（290PS）に引き上げ、組み合わせるS トロニック トランスミッションも、従来の6速から7速にグレードアップし、ドライブビリティと燃費効率をさらに改善しています。

操作性・機能性の面では、先にAudi TTやAudi A4などに採用されて好評を得ている、フルデジタルの多機能ディスプレイ「バーチャルコックピット」がAudi A3 シリーズとして初めて選択できるようになりました。アウディユーザーにはお馴染みのMMI コントロールユニットも操作ロジックが全面的に刷新され、より使い易くなっています。コネクティビティの面では、オプションのナビゲーションシステムとの組み合わせで、「アウディ スマートフォンインターフェイス」が利用できるようになり、手持ちのスマートフォンを簡単につなぎ、車載のモニターで特定のアプリの操作などを行えるようになりました。

ボディは従来どおり、5ドアのスポーツバックと4ドアのセダンの2タイプ。今回から新たに、ホイールを17インチにサイズアップして車高を15mm下げた“sport”モデルが、前輪駆動の1.4 TFSI 及びフルタイム4WD仕様の2.0 TFSI quattroの両方に設定されることになりました。

今回発売する新型Audi A3 およびAudi S3 各モデルの主要諸元と価格は以下の通りです。

Audi A3 Sportback / Audi S3 Sportback

	A3 Sportback 1.4TFSI	A3 Sportback 1.4TFSI sport	A3 Sportback 2.0TFSI quattro	A3 Sportback 2.0TFSI quattro sport	S3 Sportback
全長 mm	4,325	4,325*1	4,325	4,325*1	4,335
全幅 mm	1,785				
全高 mm	1,465	1,450*2	1,465	1,450*2	1,440
ホイールベース mm	2,635				
車両重量 kg	1,320		1,460		1,520
JCO8モード燃費 km/ℓ	19.5	19.5	16.0	16.0	14.7
総排気量 cc	1,394		1,984		
エンジン種類	直列4気筒 DOHC インタークーラー付ターボチャージャー				
最高出力 kW(PS)/rpm	90(122)/ 5,000-6,000		140(190)/ 4,180-6,000		213(290)/ 5,400-6,500
最大トルク Nm/rpm	200/ 1,400-4,000		320/ 1,500-4,180		380/ 1,850-5,300
駆動方式	FWD (前輪駆動)		クワトロ (フルタイム4WD)		
トランスミッション	7速Sトロニック				
タイヤ	205/55R16	225/45R17	205/55R16	225/45R17	225/40R18
車両本体価格 (税込)	2,930,000 円	3,290,000 円	3,990,000 円	4,290,000 円	6,060,000 円

*1 : S line パッケージ装着車の場合 +10mm

*2 : S line パッケージ装着車の場合 -10mm

Audi A3 Sedan / Audi S3 Sedan

	A3 Sedan 1.4TFSI	A3 Sedan 1.4TFSI sport	A3 Sedan 2.0TFSI quattro	A3 Sedan 2.0TFSI quattro sport	S3 Sedan
全長 mm	4,465	4,465*1	4,465	4,465*1	4,470
全幅 mm	1,795				
全高 mm	1,405	1,390*2	1,405	1,390*2	1,380
ホイールベース mm	2,635				
車両重量 kg	1,330		1,470		1,530
JCO8モード燃費 km/ℓ	19.5	19.5	16.0	16.0	14.7
総排気量 cc	1,394		1,984		
エンジン種類	直列4気筒 DOHC インタークーラー付ターボチャージャー				
最高出力 kW(PS)/rpm	90(122)/ 5,000-6,000		140(190)/ 4,180-6,000		213(290)/ 5,400-6,500
最大トルク Nm/rpm	200/ 1,400-4,000		320/ 1,500-4,180		380/ 1,850-5,300
駆動方式	FWD (前輪駆動)		クワトロ (フルタイム4WD)		
トランスミッション	7速Sトロニック				
タイヤ	205/55R16	225/45R17	205/55R16	225/45R17	225/40R18
車両本体価格 (税込)	3,110,000 円	3,470,000 円	4,170,000 円	4,470,000 円	6,240,000 円

*1 : S line パッケージ装着車の場合 +5mm

*2 : S line パッケージ装着車の場合 -10mm

■新型 Audi A3/S3 の概要

スポーティさがさらに鮮明に

エクステリアは従来のモデルからシングルフレームグリル、バンパー、ヘッドライト、リヤディフューザーなどのデザインが変更され、スポーティな印象がより鮮明になっています。シングルフレームグリルは若干幅が広げられ、六角形のテーマがより強調されるようになりました。フロントバンパーは、左右のエアインテークの部分を中心により立体的な造形となり、その上方のヘッドライトにもよりシャープな輪郭が与えられています。ヘッドライトはハイキセノンが標準で、オプションでLED ヘッドライトを選択した場合は、リヤコンビネーションライトに「ダイナミックターンインディケーター」が組み込まれることとなります。

今回から Audi A3/S3 の全モデルに標準搭載されることになった「オーディプレセンス フロント」は、レーダーセンサーにより前方の交通状況を常時監視し、緊急時には自動ブレーキを発動するなどして事故の危険を減らすシステムです。約 10km/h～65km/h で歩行者を、約 10km/h～250km/h でほかの車両を検知。接触する可能性があるると判断されたときは警告が発せられるとともに、必要に応じてブレーキ操作への介入が行われます。さらに状況に応じ、フルブレーキを発動し衝突スピードを抑えるため、最大限の減速、衝突の回避、衝撃の緩和を図ります。さらに、アダプティブクルーズコントロールも全車標準装備し、上級モデルと同等の安全装備を備えています。

2017 年夏以降の販売車両からは「オーディアクティブレーンアシスト」「オーディサイドアシスト」「トラフィックジャムアシスト」などの先進システムを組み合わせた「セーフティパッケージ」が提供される予定です。いずれもコンパクトクラスでは初採用となる、最新のセンサー&運転制御テクノロジーを用いた高度なアシスタンスシステムです。そのうち「オーディアクティブレーンアシスト」は、ドライバーの車線維持操作をサポートするシステムで、ウインカーを使用しない状況でクルマが車線を逸脱しそうになると、警告を発すると同時にステアリングにも介入し、クルマを同一車線内に維持します。「オーディサイドアシスト」は、レーダーとカメラにより後方及び側方の運転状況を監視することで、車線変更時の事故の危険を減らすシステムです。「トラフィックジャムアシスト」は「アダプティブクルーズコントロール」（全モデルに標準装備）の拡張機能のひとつで、約 0km/h～65km/h で渋滞した高速道路などを走行中、アクセル、ブレーキだけでなくステアリング操作も一部代行し、ドライバーの負担を軽減します。将来の本格的な自動運転につながるテクノロジーとして注目されているシステムです。

デジタル化された操作系とオーディ スマートフォンインターフェイス

Audi TT、Audi A4、Audi Q7 といった上級モデルに採用され評判を呼んだ、フルデジタルの多機能ディスプレイシステム「バーチャルコックピット」が Audi A3 シリーズでも選択できるようになりました。オーディを代表する先進テクノロジーのひとつである MMI コントロールユニットも全面的に刷新され、さらに使い易くなっています。ヒエラルキーを最小限にした新しい操作ロジックは、スマートフォンのそれにならったものです。もうひとつ注目すべきは、オプションのナビゲーションシステムとの組み合わせで、「オーディ スマートフォンインターフェイス」が利用できるようになったことで、iPhone、Android の両方のスマートフォンに対応し、車載のインフォテイメントシステムとの接続、特定のアプリの共有（スマートフォンと車載インフォテイメントシステム間の）が可能になっています。

ライトサイジングのコンセプトを具現化した新開発の 2.0 TFSI エンジン

Audi A3 の quattro モデルには、従来の 1.8 TFSI に代わり「B サイクル」と呼ばれるオーディ独自の燃焼方式を採用した新しい 2.0 TFSI エンジンが搭載されています。B サイクルという呼称は、発案者の Dr. ラルフ プダック（AUDI AG のエンジニア）にちなんだもので、バルブタイミングの設定により低～中負荷領域で吸気工程を短縮する、いわゆる「ミラーサイクル」の原理を取り入れ、燃料消費を減らしています。その一方で、高負荷運転時にはバルブタイミングを一般的なものに戻し、2ℓ 排気量とターボチャージャーによる過給をフルに活かし、大きなパワーを発揮させます。圧縮比を 11.6 と、過給エンジンと

しては異例に高く設定したことも高効率に貢献しており、結果として 140kW (190PS) / 320Nm の出力 / トルクと、JC08 モードで 16.0km/ℓ (前モデル比 8%向上) という良好な燃費を両立させることに成功しています。大きめの排気量を逆に利用し、効率とパワーの融合を図るこの技術コンセプトをアウディは「ライトサイジング」と呼び、今後採用するエンジンを拡大していく方針です。

新しい 7 速 S トロニックと quattro フルタイム四輪駆動システム

Audi A3 quattro 及び Audi S3 は、電子制御油圧式のマルチプレート (多板) クラッチによりエンジントルクを前後輪に振り分ける quattro フルタイム四輪駆動システムを採用しています。一般的な走行条件では、エンジントルクの大半は前輪に向けられますが、必要が生じるや否や、電子システムが状況を感じ、後輪にもトルクが分配されるようになります。これらのモデルに組み合わされる湿式クラッチを用いた S トロニック トランスミッションは、従来の 6 速仕様から、トルク容量も高めた新しい 7 速タイプにグレードアップされました。このトランスミッションには新しい機能も付加されており、Audi A3 2.0 TFSI quattro sport と Audi S3 の両モデルでは、標準装備の「オーディドライブセレクト」で“efficiency”のモードを選択したとき、巡航中のアクセルオフ時にクラッチが切り離され、ギアがニュートラルな状態となる「フリーホイーリング」の機能が働き、燃料消費を削減します。なお、1.4 TFSI エンジンを搭載した前輪駆動モデルは、従来どおり乾式クラッチを用いた 7 速 S トロニックを採用しています。

新型 Audi S3 Sportback & S3 Sedan

Audi A3 の高性能バージョンである Audi S3 には、213kW (290PS)、380Nm を発揮する 2.0 TFSI エンジンが搭載されます。パワーは従来のモデルから、3kW (5PS) アップしました。駆動方式は全モデル、quattro フルタイム四輪駆動システムを採用し、同じく標準設定の S トロニックは、従来の 6 速から 7 速に進化しました (フリーホイーリング機能が備わっている点は前述のとおり)。サスペンションは、通常の Audi A3 と比べるとかなり固められており、それに伴い車高が 25mm (新しく設定された sport と比べても 10mm) 低くなっています。敏捷性と安定性を高度に両立させるため、切り角に応じてレシオが代わる「プログレッシブステアリング」を全モデルに標準化したほか、電子可変ダンパーシステムの「オーディomagネティックライド」をオプション設定しました。

エクステリアは、専用デザインのバンパーとルーフスポイラー、18 インチホイール、リヤの両側に設置された迫力あるデュアルエグゾーストなどにより、通常の Audi A3 よりずっとアグレッシブな印象になっています。ヘッドライトは LED が標準で、オプションでマトリクス LED ヘッドライトも選択可能であり、その場合はリヤだけでなくフロントにも「ダイナミックターンインディケーター」が備わるようになります。インテリアにはファブリックとレザーを組み合わせたスポーツシート、専用デザインの 3 スポーク革巻きマルチファンクションステアリングホイール、ナビゲーションシステムなどを標準で装備。そのうちシートについては、オーディデザインセレクションによるファインナッパレザーを使った特別な仕様 (エクスプレスレッド) も選択することができます。

参考：Audi A3 シリーズについて

Audi A3 は、プレミアムコンパクトカーの先駆的なモデルとして、1996年のパリ モーターショーでデビューを飾りました。当初販売されたものは、3 ドアハッチバックの 1 ボディタイプのみで、全モデル前輪駆動方式を採用していました。日本でも翌 1997 年春から販売が始まっています。その後、1998 年秋に quattro モデルが追加され、1999 年からは 5 ドアモデルも選択できるようになりました。現行のシリーズは 2012 年春のジュネーブ モーターショーで初お披露目され、2013 年秋から日本での販売が始まった 3 世代目で、Audi A3 シリーズとして初めて 4 ドアセダンがラインナップに加えられました。また 5 ドアモデルは、2004 年発表の 2 世代目からショートワゴンのようなキャラクターを備えるようになり、Sportback（スポーツバック）という独自の名称が与えられることになりました。Audi A3 Sedan は 2013 年に発表され、2014 年 1 月から日本で販売が始まりました。全幅 1.8m 以下のコンパクトなセダンモデルとして、発売以来好評を博しています。

Audi S3 は、quattro ドライブシステムとハイパワーエンジンを搭載した Audi A3 のスポーツバージョンとして、1999 年にヨーロッパで初代モデルが発売されました。ボディタイプは当初 3 ドアだけの設定でしたが、2006 年デビューの第 2 世代から 5 ドア“Sportback”の Audi S3 がラインナップに加わり、さらに、第 3 世代の現行シリーズでは 4 ドアセダンも選択可能となっています。2011 年には、Audi S3 よりもさらに高性能な Audi RS 3 を投入し、コンパクトクラスのスーパースポーツモデルという独自のセグメントを切り開きました。また、2014 年に発表した Audi A3 Sportback e-tron は、アウディブランド初のプラグインハイブリッドモデルであり、優れた環境性能と実用性、運動性能を融合したオールマイティなコンパクトカーとして話題を呼びました。日本でも 2015 年秋に発売されています。1996 年の初代発売以来、Audi S3、Audi RS 3 を含めた Audi A3 シリーズの世界累計販売台数は 400 万台を突破しています。